

2022年度第3回理事会報告

開催日時:2022年7月30日(土) 10:00 ~ 12:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長からの挨拶に続いて、出席者全員が自己紹介を行った。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2022年度第3回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、32名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2023年度業務委託契約について

総務担当木下理事より、(株)国際文献社と次年度契約を継続する案が提議され、審議した結果、9月30日までに次年度の具体的な契約書案を確認することを前提として、満場一致で承認された。

第3号議案 新体制の挨拶状送付リストについて

総務担当木下理事より、第8期役員体制が発足した挨拶状案および送付先リストについて、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 Zoomの契約更新について

総務担当木下理事より、Zoomについて、今年度の契約内容のまま次年度も契約を更新する案が提議され、審議の結果、事前に各地域ブロックの意向を確認したうえで、契約を更新することになった。

第5号議案 編集委員の追加委嘱について

機関誌編集担当理事より、前回の理事会にて委員委嘱の承認を得られていなかった特別研究期間中の委員について追加委嘱の要請があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第6号議案 2022年度学会賞授賞候補作について

学会賞審査委員会担当杉山理事より、2022年度学会賞の審査経過および授賞候補作について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、今年度の学会賞授賞が満場一致で承認された。

第7号議案 英語の翻訳者について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があり、次に広報委員会担当岩永理事より補足説明があった。審議の結果、運営委員会からの提案が満場一致で承認された。

第8号議案 CS-NETメーリングリストの利用規約について

研究支援委員会担当高良理事より、現在、立ち上げ準備中である「CS-NET」のメーリングリスト運用・利用規約案について配付資料に基づき説明があり、審議した結果、満場一致で承認された。

第9号議案 スタートアップ・シンポジウムのシンポジストへの交通費補助について

研究支援委員会担当高良理事より、初期キャリアにある登壇者に対し、本会から交通費を一部補助することについて、検討依頼があった。審議の結果、第70回秋季大会にて実施されるスタートアップ・シンポジウムに限り要望を認めるとともに、今後、旅費規程を見直す必要があることを確認した。

第10号議案 日本社会福祉系学会連合と共同実施の初期キャリア研究者の実態調査に関して

研究支援委員会担当高良理事および日本社会福祉系学会連合の会長である保正副会長より配付資料に基づき説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第11号議案 マイページ改修および年会費支払方法の拡充について

総務担当木下理事より、クレジットカード決済の導入について、初期費用と毎年の運用費がかかることから、別の決済方法を検討することが提議され、満場一致で承認された。またマイページが老朽化していることから、改修の必要があることを確認した。

第12号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2022年度会員動向

総務担当木下理事より2022年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 2022年度定時社員総会報告

総務担当木下理事より、2022年5月29日に開催された2022年度定時社員総会での出席者数および議事録について配付資料に基づき報告があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第70回秋季大会で実施する留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況等について配付資料に基づき報告があった。また、今大会には韓国から5チーム（ポスター発表3件、口頭発表2件）が参加予定である。

10月に韓国社会福祉学会の大会および中国福祉研究専門委員会による「東アジアフォーラム」が開催される予定である。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、第70回秋季大会の開会式に引き続いて執り行われる学会賞授賞式、および当日に向けてのスケジュールについて、配付資料に基づき説明があった。

7. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事より、随時、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的に広報活動を行っているとの報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、委員会内の業務分掌および今後のスケジュールについて、配付資料に基づき報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、スタートアップ・シンポジウム、CS-NET、リレーエッセイおよびサロン企画等の進捗状況等について、配付資料に基づき報告があった。

11. 地域ブロックからの報告

・北海道地域ブロック：6月4日に北海道社会福祉学会の総会・講演・シンポジウムを開催し、盛況に終わったとの報告があった。現在、60周年事業に向けて準備中である。

・東北地域ブロック：今年度の研究大会は11月23日に青森県立保健大学での開催を予定している。

現時点では対面開催の予定である。

- ・関東地域ブロック:運営委員会を開催し、今後の運営体制等について協議をしている。今年度の研究大会は2023年3月19日開催を予定しており、企画内容等の詳細については今後検討を行う予定である。
- ・中部地域ブロック:報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック:年次大会は例年通り年度末の開催を予定している。現在、機関誌『関西社会福祉研究』の発刊に向けて準備を進めている。8月に理事会を開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック:7月9日に第53回大会を対面形式で開催し、盛況に終わったとの報告があった。
- ・九州地域ブロック:7月10日に長崎国際大学を開催校として研究大会をオンライン開催し、盛況に終わったとの報告があった。また、6月に定期総会を書面開催し、その表決結果について7月6日に会員へ書面報告したとの説明があった。

12. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

・後援(協賛)依頼について

総務担当木下理事より、前回理事会での報告以降、後援依頼はなかったとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、本学会と共同して調査を実施予定であるとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

金子副会長より、6月27日に開催された全体会議の報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より7月23日に開催された会議にて役員の改選が行われたとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2023年1月28日(土)にシンポジウムの開催を予定しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

報告事項は特になし。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

議長は、議事終了を告げ、12時00分に理事会を解散した。

以上